

令和3年2月18日
於
府中市立教育センター

令和3年第2回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和3年第2回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和3年2月18日(木)

午後2時00分

閉 会 令和3年2月18日(木)

午後2時30分

2 出席者

教育長 浅沼昭夫 委員 日野佳昭

委員 平原保 委員 新島香

委員 増淵達夫

3 欠席者

なし

4 出席説明員

教育部長 赤岩直 文化スポーツ部長 関根滋

教育部副参事兼指導室長 文化生涯学習課長 二村善久

並木茂男 市史編さん担当主幹 英太郎

教育総務課長 矢ヶ崎幸夫 図書館長 平野妙子

教育総務課長補佐 矢島彩子 図書館長補佐 田口宏治

学校施設課長 町井香 美術館副館長 相馬修央

学校施設課長補佐 遠藤勝久 美術館副館長補佐 鎌田享

学務保健課長 佐伯富丈

給食センター所長 谷本耕一

指導室主幹 目黒昌大

統括指導主事 吉田周平

統括指導主事 菅原尚志

指導主事 進藤智洋

指導主事 蓮沼喜春

指導主事 國廣淨和

指導主事 林由佳子

5 教育委員会事務局出席者

教育総務課係長 元村考呂

教育総務課事務職員 森菜摘

議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第6号議案

府中市教育委員会表彰について

第7号議案

令和3年度府中市美術館企画展観覧料について

第4 報告・連絡

- (1) 平和啓発事業の実施について
- (2) 府中市図書館協議会提言について
- (3) 「第4期府中市子ども読書活動推進計画」中間報告アンケート集計結果について
- (4) 企画展「与謝蕪村」展の開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後2時00分開会

○教育長（浅沼昭夫君） ただいまより、令和3年第2回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の議事録署名員は、教育長のほか平原委員にお願いいたします。

◇

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 本日の議事の進め方について、新型インフルエンザ等特別措置法第32条第1項の規定に基づき、政府による緊急事態宣言が出されていることに伴い、府中市教育委員会会議規則第17条に基づき、日程第4 報告・連絡につきましては、事務局からの説明は割愛することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 傍聴の方に申しあげます。本日の第6号議案につきましては個人情報に記載されているため、資料を省略してお配りしております。また、本日の報告・連絡につきましては、資料の配布のみといたしますので、ご承知おきください。

◇

◎第6号議案 府中市教育委員会表彰について

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第3、第6号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○教育総務課長補佐（矢島彩子君） ただいま議題となりました第6号議案「府中市教育委員会表彰について」お手元の資料に基づきご説明いたします。

府中市教育委員会では、府中市の教育文化の振興発展に貢献し、その功績の顕著な者及び他の模範とするに足る成績または行為のあった者に対し、府中市教育委員会表彰規程に基づき表彰を行うことになっております。先月の本定例会におきまして、各小中学校から推薦を頂いた児童・生徒並びに職員についての表彰をお諮りしたところでございますが、その後、他の模範とする行為のあった者の推薦があり、所要の内部的な審査を経て本定例会にお諮りするものでございます。

議案書を1枚おめくりいただき、2ページをご覧ください。推薦は中学生2件でございます。活動内容は、歩道上で倒れた傷病者への対応であり、人命救助につながる他の模範とするに足る行為で表彰に該当するものとして、候補者としております。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議くださいますようお願いいたします

す。

○教育長（浅沼昭夫君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（新島 香君） 人命救助ということで大変すばらしい行動だったと思うのですが、これはいつ頃このようなことがあったのか教えてください。

○教育総務課長補佐（矢島彩子君） この事案につきましては、発生が先月1月12日の火曜日、夕方頃でございました。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

ご意見はございますか。

○委員（新島 香君） この内容を見ると、救急バッグを持ってきたり、AEDを持ってきたりということのをされたみたいで、中学校3年間のうちに中学生は救命の講習をみんな受けることになっていて、それを受けた経験があったからこそできたことかなと思うので、こういった中学生の活動があったというのは大変喜ばしいことだと思うのと同時に、また今後一層こういうふうに関心があるときがあるということ、子どもたちにも伝えながら続けてほしい教育の一つだと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りをいたします。第6号議案「府中市教育委員会表彰について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎第7号議案 令和3年度府中市美術館企画展観覧料について

○教育長（浅沼昭夫君） 第7号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（浅沼昭夫君） 説明をお願いします。

○美術館副館長補佐（鎌田 享君） それでは、ただいま議題となりました第7号議案につきまして、ご説明いたします。お手元の議案書裏面をご覧ください。

令和3年度府中市美術館企画展の展覧会名、期間、観覧料につきましては、(1)から(5)にそれぞれ記載のとおりです。続いて、企画展の内容についてご紹介いたします。

(1)の「映えるNIPPON」展は、江戸時代から昭和にかけての日本の風景画を紹介する展覧会です。富士山をはじめとする景勝地あるいは日光東照宮や広島の大島神社などの神社仏閣といった日本各地の名所がどのように描かれ、人々に伝えられてきたのかを、絵画はもとより版画や写真、ポスターといった多彩な作品によって振り返ります。

(2)の「ばれたん展」は、子どもたちを対象に隔年で夏休み時期に開催しているシリーズ展です。10回目となる今回も府中市美術館の人気キャラクターばれたんとむら田の案内で作品の鑑賞や簡単な工作などをお楽しみいただきます。

(3)の開館20周年記念「動物の絵 日本とヨーロッパ」は、日本と西洋の絵画作品を紹介する展覧会です。日本でもヨーロッパでも動物は古くから繰り返し描かれてきました。この展覧会では、奈良県春日大社ゆかりの鹿曼荼羅とフランスの画家モローが一角獣を描いた作品など、東西の様々な時代に描かれた動物絵画を比較しながら紹介し、それぞれの類似

点と相違点をご覧ください。なお、本展覧会は令和2年度の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期して実施いたします。

(4)の「池内晶子展」は、現役美術家の活動を紹介する展覧会です。池内晶子は1967年に調布市に生まれ、現在は稲城市に暮らす府中多摩地域ゆかりの作家です。部屋の中に絹糸を張り巡らすことで、繊細さとダイナミックさを併せ持った立体状の構造物をつくり上げます。今回の展覧会では、府中市美術館の展示室に合わせた新作を紹介します。

(5)の「ふつうの系譜」展は、福井県敦賀市にある敦賀市立博物館の江戸絵画コレクションを紹介する展覧会です。大和絵や円山・四条派の作品など、そのユニークな作品群を存分にお楽しみいただけます。なお、同博物館のコレクションによる企画展は、令和2年の3月から5月にかけて開催しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの方々に惜しまれながらもやむなく会期中で中断いたしました。今回の展覧会は、市民や来館者からの要望にお応えするためにも先の企画展を再構成しながら開催するものです。

次に、2の「団体料金等」についてご説明します。(1)の企画展の団体観覧料20名以上につきましては、1人1回につき、各展覧会個人の観覧料の2割引とします。(2)のメンバーシップ会費につきましては、記載のとおりです。(3)のメンバーシップの団体会費20名以上につきましては、1人につきメンバーシップ会費の2割引とします。(4)のメンバーシップ学校法人会費につきましては、市内大学と近隣美術系学科の学校法人を対象とします。会費につきましては、記載のとおりです。(5)の賛助会員会費につきましては、美術館をサポートしていただける個人、団体、企業、大学を募るもので、記載のとおりです。

次に、3の「その他の割引」ですが、各企画展での一覧表に記載されていない割引を記載しています。(1)「動物の絵 日本とヨーロッパ」などの前売券については、2の(1)の団体料金を適用します。

2ページをご覧ください。(2)の「動物の絵 日本とヨーロッパ」、「ふつうの系譜」は、会期の前半と後半で大幅な展示替えを行うため、2回目を半額とします。

最後に、4の「音声ガイド貸出料金」ですが、主に秋と春の展覧会で貸出をしており、金額は記載のとおりです。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○教育長(浅沼昭夫君) 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員(日野佳昭君) 2の「団体料金等」の(2)のメンバーシップ会費ということですが、今現在メンバーシップの方は大体何人ぐらいいらっしゃるのかということと、昨年、おととしとの比較で増減はどうかということをお願いします。

○美術館副館長(相馬修央君) ただいまご質問のありましたメンバーシップの会員なので、すけれども、令和元年度の8月頃には約300名の方がいらっしゃったのですが、コロナの影響等を受けまして、昨年8月末には209名の方になってしまいました。実際、メンバーシップについては1年間の有効期限なのですが、臨時休館等もありましたので延ばしはしたのですけれども、来館者の減りに大きく影響を受けまして、会員数としては209名となっております。また、団体につきましては、令和元年度から新たに近隣の美術系の大学についてメンバーシップに、会員としてさせていただくことによって、その会費を払っていただくことで、学校の生徒さんと、それから教職員の方も1年間何度来ても無料で観覧できるよう

にいたしました。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにご質問はございますか。

○委員（平原 保君） 今の説明の中にありましたメンバーシップ学校法人会費について、市内の大学及び美術系ということで、大学生が府中市美術館を訪れるということは、大学生の教育とともに府中市の文化の発展に寄与する活動ではないかなと興味を持ちました。現在、この大学の法人というのは何件ぐらいメンバーシップに登録されているのでしょうか。お願いします。

○美術館副館長（相馬修央君） 主だったところとしては市内の外語大、それから小金井の東京工学院等ありまして、あと、多摩美術大学、武蔵野美術大学、あともう1校はちょっと出てこないのですけれども、5校だったと思います。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

○委員（平原 保君） ありがとうございます。できればもっと広げていくと良い活動なのかなと思っています。よろしくお願いします。

○教育長（浅沼昭夫君） ご質問いかがでしょうか。

○委員（新島 香君） 今、平原委員からお話があったメンバーシップ学校法人は、市内大学、これを市外に広げるとするのは難しいことなのでしょうか。教えてください。

○美術館副館長（相馬修央君） 一応市内と市外と近隣まで広げております。府中市の農工大にも声をかけたのですけれども、ちょっと農工大は参加していませんが、美術系ではないので仕方がないのですけれども、近隣の美術系のところには声をかけて今後も増やしていければと思っております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。

○委員（増淵達夫君） 今のこのメンバーシップ団体、大学なののですけれども、メンバーシップになると無料で見ることができる以外に、学生にとって「これやって良かった」という具体的にそういった声が上がっていたら教えていただきたいのですけれども。

○美術館副館長補佐（鎌田 享君） 大学の学生さんたちの反応なののですけれども、もちろん個人で観覧に来るケースもあるのですけれど、今回こういう形でより多くの大学生さんが参加しやすい形にしたことで、学校の授業での利用というのもあります。授業の中で具体的に作品を鑑賞しに来るケースなどがありますので、そういう意味では利用の形態は幅を持って、様々な形で利用していただけるような間口が広がったのではないかなと考えております。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにかがでしょうか。

それでは、ご意見はございますか。よろしいでしょうか。

それでは、お諮りをいたします。第7号議案「令和3年度府中市美術館企画展観覧料について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（浅沼昭夫君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎報告・連絡

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、日程第4、報告・連絡ですけれども、何か確認事項等がございますでしょうか。報告・連絡には4件挙げられていますけれども、いずれでも結構

です。増淵委員、どうぞ。

○委員（増淵達夫君） 報告（1）の「平和のつどい」のことですけれども、講師が森末慎二さんでオリンピックの体操の選手ですけど、この方が平和のつどいの講師をされることになった選定の理由を教えてくださいたいと思います。

○文化生涯学習課長（二村善久君） 昨年度からオリンピック・パラリンピックにつきまして延期されたところがございますけれども、オリンピック自体が平和の祭典でございますので、本市の平和事業についてもオリンピックに関連して実施しているところでございます。その中で、展示等につきましても、オリンピックに絡めた展示等も8月に行わせていただきましたが、もともとは8月のほうで森末慎二さんをお呼びする予定だったのですけれども、8月の開催は難しかった状況がございましたので3月に移行しまして、今回オンラインという形にはなりますが、実施したいと考えているものでございます。

○教育長（浅沼昭夫君） よろしいですか。ほかにもございますでしょうか。

平原委員、どうぞ。

○委員（平原 保君） ぜひ私も視聴したいなと思っておりますが、オンラインで1日限定ということで、午前0時からホームページに掲載、このURLが掲載されるのですかね。視聴するときの時間というのはどのぐらいなのかということと、もう1つ、せっかくご講演いただけるので、アンケートや何かの声を上げることができるのか聞きたいと思っております。

○文化生涯学習課長（二村善久君） 講演のお時間につきましては、90分以内というところで予定しております、90分自体長いのでそれ以内の時間ということで予定してございます。それから、視聴していただいた方々のお声ということですが、ホームページ上でご意見をそのまま頂くのは難しい形ではございますが、少なくともログを取りまして、どれぐらい視聴していただいたか、また、何らかの方法でご意見いただける方法が考えられれば検討したいと思っております。

○委員（平原 保君） 分かりました。直接入力できなくても何らかの形でということで、講演していただいた方への感謝の気持ちも表せるのではないかなと思うので、ぜひよろしくお願い致します。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡の4件につきまして了承といたします。



◎その他

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第5、その他でございますが、何かありますでしょうか。

平原委員、どうぞ。

○委員（平原 保君） 先日、府中市の教育委員会のホームページを見ている中で、今、ICTのいろいろ環境整備を整えていることで配備しつつあるということ、もう1つ、次に人的な配置ということで、非常勤教員のICT指導員の募集事項と試験要項というのがありました。すばらしい取組だなと思っておりますが、このICT指導員に対してどのような業務を想定されているのでしょうか。学校教育が充実していくようにということで配備されていると思いますが、主な業務内容等を教えていただけたらと思います。

○指導室主幹（目黒昌大君） ICTの支援員、広報に載っていたものですよ。月額制の

会計年度任用職員として、教員として経験のある方を1名公募しております。来年度、GIGAスクールの実現ということで、一気に学校のICT化が進んでいくわけですが、全般的に教員または生徒の2万1,000程度になるアカウントの管理ですとか、その後のネットワークの回線の増強、機材の選定だとか広範なアドバイスを頂きたいと思っていますし、学校での実践も始まったばかりですので、学校とともにその取組を見に行き、評価をし、具体的なPDCAを回すということを考えているところです。

あと、プログラミング教育など学校で使用するソフトの選定とか、活用方法とか、そういうことの検討なんかもお願いしたいと考えているところです。

○委員（平原 保君） 分かりました。急な質問でしたけれども、ありがとうございました。やはりこういう方がいることによって、教員も安心して進められるでしょうし、機器の配備とともに人的な配置は大事なことだなと感じています。よろしくお願いします。

○教育長（浅沼昭夫君） ほかにございますでしょうか。よろしいですか。



◎教育長報告

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、続きまして、日程第6、教育長報告に移ります。

活動状況については、別紙の「令和3年第2回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。

なお、この報告書は、令和3年1月16日から令和3年2月12日までの活動内容となっております。

私から特段の報告はございません。以上です。



◎教育委員報告

○教育長（浅沼昭夫君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況につきましては別紙のとおりでございます。まず、日野委員、お願いいたします。

○委員（日野佳昭君） 簡単に3点報告します。昨日2月17日です。ウェブ会議、多摩地域子ども救命センターブロック会議に参加しました。ほぼ各基幹病院が出席する会議ですが、各基幹病院では小児のコビット19の患者さんは少数と減少しており、一般の外来、救急、入院患者さんも過去に比べて半減しているそうです。

2点目として、コロナウイルスワクチンの予防接種に向けて、府中市の健康推進課と医師会が中心となって準備が進んでおります。問題は多数ありまして、また予想しないトラブルにも対応が必要であると考えております。今、一番問題になっているのが、ワクチンの供給が順調に行われるかどうかということで、これは今後注視していかなければいけません。

3点目、最後には学校給食に関することです。先週から今週にかけて小中学校で、黒毛和牛のビーフシチューが出たということで、私の患者さんの子どもたちは大変喜んでおりまして、とてもおいしかったと言っております。全国での各地方の特産物が給食に使われ、メディアに扱われ、好評のようです。時々このような特別な給食があるとよいと思いました。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございました。続きまして、平原委員、お願いいたします。

○委員（平原 保君） 今月私は2つのオンライン会議に参加しました。初めに2月9日、東京都市町村教育委員会連合研修会への参加です。本研修会では、東京都医師会副会長の角田徹先生からテーマ「新型コロナウイルス感染症の現状と対策」、サブタイトルとして「学校現場の取組について」のご講演がありました。

現状について、世界の感染状況や国内の感染者数の推移など、統計資料を基にして俯瞰的に説明してくださいました。

続いて、経路感染や感染予防についての具体的な説明がありました。そして、学校で身近にできる感染予防として、基本的な手洗いやマスクの着用、換気などの大切さを強調され、改めて学校現場での取組を継続する必要性を指摘されていました。

最後に、オンライン研修会ですが、私たちからの質問にも丁寧にお答えしてくださいました。

次に、2月17日、文部科学省主催の市町村教育オンライン協議会に参加しました。この協議会では、事前の行政説明の動画を視聴することになっており、1月26日の中央教育審議会答申の「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」の概要、並びに令和3年度初等中等教育局の関係予算の説明がありました。

当日はZoom ミーティングでした。私は、教育の情報分科会と地域と学校の連携分科会に参加しました。

初めに、情報の教育分科会では、私の分科会は5名ですけれども、埼玉県朝霞市、神奈川県綾瀬市、和歌山県海南市、福岡県春日市の教育委員会の皆さんと、GIGAスクール構想の実現に向けた取組や現状について情報交換し、各地域において学校のICT環境が整いつつあることが分かりました。その上で児童の学びの質を高めるために、教員のICT活用力や指導力の向上に向けた教員研修や専門家等の人材確保について協議が進み、情報教育のセキュリティの課題についても話し合いました。

第2に、地域と学校の連携協働分科会では、埼玉県朝霞市、千葉県柏市、滋賀県守山市、宮崎県宮崎市の教育委員会の皆さんと、各地域における連携協働の現状について情報交換し、各地域の特色ある取組が紹介されました。続いて、コミュニティスクールの取組や地域コーディネーターの選出、連携協働の成果や課題等について協議を深めることができました。

この2つの分科会に参加してですけれども、府中市の情報を発信したり、各地の教育長、教育委員と協議を進めたりすることができ、府中の教育を見つめ直す貴重な機会となりました。

最後に、私は2つのオンライン会議に参加して、オンラインによる時間や場所の制約からの自由という利点を享受しました。一方で、対面でこそ得られる利点があることを痛感しました。やはりこれからの教育においては、対面とオンラインの各利点を生かしたハイブリッド方式を取り入れていくことが重要であると考えています。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。続きまして、新島委員にお願いいたします。

○委員（新島 香君） 私も平原委員と同じく、2月9日に市町村教育委員会連合会の研修会をオンラインで拝聴いたしました。今、お話しあったとおりですが、感染症のピークが発症前2日間のため、発熱等がなくても常に予防策を取ることが大切であり、マスクの着用、

手洗いは引き続き重要な対策であること。また、手洗いについてはハンドソープがない場合でも、15秒以上流水で流すだけでも効果が高いとのことで驚きました。また、小児はdead-end hostと言われ、他者への感染を広げることが少ないとのことで少し安心できる内容でした。また、今後も感染が繰り返され、最終的に第5の風邪になるというお話でした。

ニュースや情報番組でも聞いてきた内容もありましたが、専門家のお話を聞くことができ、改めて知ることもあり、大変勉強になりました。年度末が近づき最後の望みをかけて延期してきた数々の行事など、子どもたちはもちろん教職員、保護者の思いが1つでも多くかなえばと思いますが、なかなか厳しい状況で心が痛みます。しかし、一番大切なことは命を守ることを忘れずに、1つ1つ丁寧に今後も対応していきたいと思います。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ありがとうございます。それでは、最後に増淵委員、お願いいたします。

○委員（増淵達夫君） 私は1月26日だったと思いますけれども、中央教育審議会の答申が公表されましたので、ちょっとそのことについて触れたいと思います。中教審の答申では、令和の日本型学校教育、それから個別最適な学びと協働的な学びの実現ということが大きな目標になっていて、幾つか報道もされましたけれども、例えば9年間を見通した義務教育の在り方ですとか、特別支援教育の在り方とか、いろいろ考えさせられる提言があったなと思います。あれが具体的にどういうふうに教育施策になっていくのかというのはこれからだと思っておりますけれども、府中のこれからの教育を考えるに当たっても、様々検討されている中で、その辺りの議論もいろいろな形で踏まえていく必要があるかなということを思いました。

それと、今年度小学校で新しい学習指導要領が始まって、やってみての成果とか課題とか、そこら辺がどうなるか。特に今年度新型コロナという大きな課題に直面しましたけれども、そういった中であってもこの新教育課程についての進捗状況とか実施上の課題はどうなのかということを、ちょっと明らかにする必要があるのかなと思っています。

そういった意味で、先ほどの中教審にしても教育課程にしても、現在の状況とか、今後の方向性ですとか、そういった辺りをどこかでやっぱり教育委員会の中でも時期を決めて、定期的に議論していく必要があるのかなと思いました。学習指導要領は大体10年ごとですし、それから、この中教審でもそう長いスパンということでもないと思いますので、受け身ではなくてそれを踏まえながら府中市としてどうしていくのか、この教育委員会の中でも少し議論ができるといいなと思いつつながらこの答申を読みましたので、少し問題提起のような形で出したいと思います。以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） ご意見を頂きまして、ありがとうございます。今後参考にしながら論議を進めていくということでよろしいかと思います。

それでは、これで令和3年第2回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。ありがとうございました。



午後2時30分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証
するため、ここに署名する。

令和3年7月15日

府中市教育委員会教育長

酒井 泰

府中市教育委員会委員

平原 保